

1.目的 平成 21 年度に施行される経済産業省国家試験情報処理技術者試験新試験制度の概要説明会へ出席し、新試験制度の概要について理解すること

2.日時 平成 20 年 2 月 1 日 (金) 14:00-16:00

3.場所 東京商工会議所 東商ホール

#### 4.概要

##### (1)現行からの変更点概要

- 各種スキル標準 (IT スキル標準、組込みスキル標準、情報システムユーザスキル標準) との整合化  
→ 情報処理技術者試験のスキルレベル判定ツール化
- IT パスポート試験 (アイパス試験) の創設
- 高度試験区分の整理、統合 → 11 区分から 9 区分に
- CBT 方式の導入 (目標) → 利便性の向上

##### (2)IT スキル標準

- 現在 5 割強の企業が IT スキル標準を採用もしくは採用を検討している
- 大企業になるほどその割合は高くなる (1000 名以上の企業で 8 割弱)  
→ IT スキル標準と情報処理技術者試験の整合化が図られたことにより、人材のスキル判定ツールとして情報処理技術者試験が今後ますます採用されると考えられる

##### (3)試験区分の整理統合

表 試験区分の整理統合

レベル	スキル	現行試験	新試験
1	職業人に共通に求められる基礎知識	初級システムアドミニストレータ	IT パスポート試験
2	基本的知識・技能	基本情報	基本情報
3	応用的知識・技能	ソフトウェア開発	応用情報
4	高度な知識・技能	プロジェクトマネージャ	プロジェクトマネージャ
		アプリケーションエンジニア	システムアーキテクト
		ネットワーク	ネットワーク
		データベース	データベース
		システム管理	IT サービスマネージャ
		エンベデッドシステム	エンベデッドシステムスペシャリスト
		情報セキュリティ	情報セキュリティスペシャリスト
		情報セキュリティアドミニストレータ	
		システムアナリスト	IT ストラテジスト
		上級システムアドミニストレータ	
システム監査	システム監査		

##### (4)新設 IT パスポート試験の意義

- あらゆる業種において、情報技術抜きにして企業や組織の活動は語れない
- すべての職業人に情報技術を積極的に活用し、いかに付加価値を生み出していくかが求められる  
→ 職業人として誰もが共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を測る試験である

##### (5)沼津高専の情報処理教育について (私見)

- 卒業時点において、全学科の学生がレベル 1 相当のスキルを、情報系学科の学生がレベル 2 もしくは 3 相当のスキルを身につけておく必要がある
- またそれに相応した情報処理教育を実施していく必要がある

以上